

みんぱく

夏やすみ

みんぱく

2019

ワークショップ

夏だ！ワークショップだ！
みんぱくへいこう！

7/
28日

みんぱくで1日 研究者体験！

フィールドワークに挑戦！ 極寒！-40℃のくらし

8/
3日

さわやかな香りでリフレッシュ！

ドムドム！タイの香り体験

8/
12日

ぼうしをつくらう！

だれのぼうし？どんなぼうし？

7/3 (水)
受付開始

夏休みこどもワークショップ

フィールドワークに挑戦！

夏休みの
自由研究は
みんぱくで
チャレンジ！



極寒！-40℃の暮らし

▲家畜トナカイ

どんなに寒い地域にも、豊かにくらす人びとがいます。
北極線をまたぐシベリアは、気温マイナス 40 度が当たり前
の世界。いったいどんな暮らしをしているのかな？
みんぱくで 1 日 研究者になって、シベリアに生きる
人びとの暮らしを調査しよう！
展示場をフィールドワークして発見したことや、先生の
解説からわかったことをまとめて、オリジナル報告書をつ
くります。

フィールドワークってなに？

研究者が調査地（フィールド）を実際
におとずれ、情報をあつめて記録する方法
です。
疑問におもったことを、モノを観察して
読み取ったり、詳しい人にインタビュー
するなどして、調査します。



▲トナカイ轡（そり）でおでかけ

開催日 2019 年 7 月 28 日（日）
時 間 10:30～16:00（集合 10:20）
場 所 国立民族学博物館 第3セミナー室、本館展示場
対 象 小学 4 年生～6 年生
定 員 12 名（事前申込制・先着順）
参加費 500 円
持ち物 デジタルカメラ（携帯電話やスマートフォンのカメラは不可）
昼食、飲み物
講 師 大石侑香（国立民族学博物館 特任助教 / 人文知コミュニケーター）

講師プロフィール

大石侑香 おおいし ゆか（国立民族学博物館 特任助教 / 人文知コミュニケーター）
どのように人間は寒冷地に暮らしてきたかについて研究しています。
西シベリアの少数民族といっしょにトナカイ牧畜や漁撈、狩猟採集を
しながら調査しています。

『みんなのフィールドワーク報告書』の展示について

当日制作された報告書等の成果物は、館内で展示
した後、郵送にて返却いたします。

展示期間：2019 年 8 月 1 日（木）～8 月 13 日（火）
（8 月 15 日以降、順次返却予定）

保護者の方へ

こどもたちの自立心を尊重するために見学席はご用意
しておりません。
こどもたちの活動のお手伝いはご遠慮ください。



▲過去の夏休みこどもワークショップの様子▲



ドムドム！タイの香り体験

タイのくらしは、花やハーブ、香辛料など、さまざまな
香りにあふれています。

タイの香り文化のひとつ「ヤードム」は、タイの人びとの
日常に欠かせないアイテムです。

ヤードムとは、黒胡椒、クローブ、シナモンなどの乾燥
させたハーブやオイルを混ぜたもので、清涼感のある
スッキリとした香りが特徴的です。

ワークショップでは、さまざまなハーブやオイルを組み
合わせて、オリジナルのヤードムをつくります。

好みの香りを探しながら、タイの文化を体験しましょう！



開催日 2019 年 8 月 3 日（土）
時 間 **A** 11:00～12:30（集合 10:50）
B 14:00～15:30（集合 13:50）
場 所 国立民族学博物館 第3セミナー室
対 象 小学 4 年生以上（小学生は保護者同伴）
定 員 各回 16 名（事前申込制・先着順）
参加費 500 円
講 師 大澤由実（国立民族学博物館 機関研究員）

講師プロフィール

大澤由実 おおさわ よしみ（国立民族学博物館 機関研究員）
ヒトと植物の関係や食文化について研究しています。特に文化における味とその
変化やグローバル化に興味があり、イギリス、タイ、日本で調査しています。

※ハーブや、植物由来のオイルを使用します。アレルギー等の不安のある方は事前に材料についてお問い合わせください。
※妊娠中の方のご参加はご遠慮ください。



だれのぼうし？どんなぼうし？

人は、なぜぼうしをかぶるのでしょうか。日差しを避けるため？頭を守るため？おしゃれのため？

世界中のぼうしを観察して、その役割について考えてみましょう。

ぼうしについて考えたあと、じぶんだけのぼうしをつくります。どんなぼうしができるかな？

開催日 2019 年 8 月 12 日（月・祝）
時 間 **A** 10:30～12:30（集合 10:20）
B 14:00～16:00（集合 13:50）
場 所 国立民族学博物館 本館展示場、ナビひろば
対 象 どなたでも（未就学児は保護者同伴）
※制作にはハサミを使用します。
定 員 各回 16 名（事前申込制・先着順）
参加費 500 円（大学生以上の方は別途、展示観覧券が必要です）
講 師 大石侑香（国立民族学博物館 特任助教 / 人文知コミュニケーター）

画用紙やリボンで
ぼうしをつくらよ！



夏やすみ

みんぱく

2019

ワークショップ

7/3 (水)
受付開始

応募方法

ワークショップへ参加ご希望の方は、申込フォームまたは往復ハガキにてご応募ください。

※一度のご応募につき、1つのワークショップのみの受付となります。

複数のワークショップにお申込みの場合は、それぞれご応募が必要です。

- ・ご応募いただいた方全員に、当館より結果をお知らせいたします。
- ・ご応募いただいた方の個人情報は、当館事業に関する目的以外では使用しません。

申込フォーム

7/3 (水) 10:00から受付開始

みんぱくホームページ内にある、各ワークショップの申込フォーム画面にしたがって必要事項をご入力ください。

往復ハガキ

7/3 (水) 到着分から受付開始

ご参加希望のワークショップをご確認いただき、下記内容とハガキ返信面に代表者の住所・氏名をご記入のうえ、ご応募ください。 ※消えるボールペンや鉛筆のご使用はお控えください。



フィールドワークに挑戦! 極寒! -40℃のくらし

※ご応募はハガキ1通につき1名までとさせていただきます。

※定員に達し次第、受付を終了します。

- 1 参加希望ワークショップ名「極寒! -40℃のくらし」
- 2 参加者氏名(ふりがな)
- 3 学年
- 4 性別
- 5 住所
- 6 電話番号(緊急連絡先)
- 7 保護者氏名



ドムドム! タイの香り体験



だれのぼうし? どんなぼうし?

※ご応募はハガキ1通につき2名までとさせていただきます。

※定員に達し次第、受付を終了します。

- 1 参加希望ワークショップ名
- 2 代表者の氏名、住所、電話番号(緊急連絡先)
- 3 参加希望時間(A or B) ※第2希望まで応募可能
- 4 参加希望人数(ハガキ1通につき2名まで)
- 5 参加希望者全員の氏名(ふりがな)、年齢

※各ワークショップについて、詳しくは中面をご覧ください。

ご応募・お問い合わせ先

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号

国立民族学博物館 企画課「夏やすみ みんぱくワークショップ」係

電話 06-6878-8532 (土日祝を除く 9:00~17:00)

FAX 06-6878-8242

http://www.minpaku.ac.jp



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

●開館時間..... 10:00 ~ 17:00(入館は 16:30 まで)

●休館日..... 水曜日(水曜日が祝日の場合は、翌日が休館)

●観覧料..... 一般 580 円/大学生 250 円/高校生以下 無料

※観覧料割引についてはホームページでご確認ください。

交通のご案内

●大阪モノレール... 「万博記念公園駅」、「公園東口駅」徒歩 約 15 分

●バス..... 阪急茨木市駅・JR 茨木駅から「日本庭園前」下車徒歩 約 13 分

●乗用車..... 万博記念公園「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩 約 5 分

※「日本庭園前ゲート」横にある当館専用通行口をお通りください。

※大学生・一般の方は自然文化園(中央口、西口、北口)窓口で、当館の観覧券をお買い求めください。同園内を無料で通行できます。※小・中・高校生が自然文化園(有料区域)を通行される場合は、自然文化園(中央口、西口、北口)有人窓口で、みんぱくへ行くことをお申し出いただき、通行証をお受け取りください。※東口からは、自然文化園(有料区域)を通行せずに来館できます。※自然文化園(有料区域)をご利用になる場合は、同園入園料が必要です。

